

第13回K・CATフォーラム

新幹線時代 地域の鉄道を考える

- 乗ってみんけ! 元気にせんけ! -

日時: 2013年2月16日(土) 13:30~16:00(13:00受付開始) 午前10時から会場設営

会場: 金沢学生のまち市民交流館 交流ホール(和室81帖)

定員: 130名(椅子は90脚)

主催: K・CAT(金沢の都市と交通を考える会)

開催主旨:

2015年春に北陸新幹線が金沢まで開業します。新幹線の開業により、金沢と首都圏との往来が便利になり、交流人口の拡大が期待されます。

一方、地域の鉄道は、地域住民の交通手段として、また新幹線の開業効果を各地域へと波及させるための手段として、必要不可欠です。

そこで、石川県内の地域の鉄道の役割や活性化策の議論を通して、新幹線時代における地域の鉄道のあり方を探ります。

プログラム(案):

- 13:30 開会・挨拶・主旨説明(10分)
- 13:40 鉄道活性化策の提案(35分:10分×3チーム+交替時間)
- 14:15 投票・休憩(15分)
- 14:30 パネルディスカッション(90分)
- 16:00 閉会

登壇者:

- ・コーディネーター: 高山純一氏(K・CAT代表、金沢大学教授)
- ・パネリスト: 北原良彦氏(K・CATメンバー、金沢経済同友会 幹事)
宮本秀夫氏(K・CATメンバー、前 武蔵活性化協議会 会長、
(株)ブック宮丸代表取締役社長)
埴 正浩氏(K・CATメンバー、(株)日本海コンサルタント専務取締役)
- ・コメンテーター: 有野充朗氏(国土交通省北陸地方整備局金沢河川国道事務所長)
- ・活性化策の発表者: 西村 光氏(K・CATメンバー、
元 ジェイアール西日本コンサルタンツ(株) 常務取締役)
土倉 悟氏(金沢大学大学院生)
大家弘聡氏(K・CATメンバー、金沢市土木局内水整備課 担当グループ長)
- ・司 会: 萩原扶未子氏(K・CATメンバー、(株)ジー・アンド・エス代表取締役社長)

活性化策の検討チーム 金沢チーム: 木谷氏、鈴見氏、西村氏、宮本氏
能登チーム: 大下氏、北原氏、不破氏、土倉氏
加賀チーム: 小森氏、坂本氏、大家氏、埴氏

活性化策の提案と投票方法：

【提案の前提条件】

- ・北陸新幹線の金沢開業(2015年春)、敦賀開業(2026年頃)を想定すること
- ・石川県を能登地域、金沢地域、加賀地域に分けて、各々の地域の課題を踏まえ、地域の鉄道であるJR北陸本線、JR七尾線、並行在来線、のと鉄道、北陸鉄道(浅野川線、石川線)の活性化策を提案すること

【提案の発表方法】

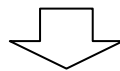
- ・10分×3人(チーム)
- ・パワーポイントで発表
- ・質疑はなし(必要に応じてパネルディスカッションの際に補足)

【投票の評価の視点】

- ・「実現可能性、新規性、魅力度」などから、3地域の提案内容に1位、2位、3位の評価をしていただく

【投票の方法】

- ・配布資料に、能登(青色)、金沢(黄色)、加賀(赤色)の3枚の投票用紙を入れておく
- ・休憩時に、参加者に、受付の投票箱(1位、2位、3位)に投票用紙を投票してもらう
 - 1番よかったと思う地域の用紙を 1位の箱(3点)
 - 2番目によかったと思う地域の用紙を 2位の箱(2点)
 - 3番目によかったと思う地域の用紙を 3位の箱(1点)



- ・休憩後すぐに集計し、集計ができ次第、グラフ化してパワーポイントに掲載
- ・パネルディスカッション中の高山先生に報告し、タイミングをみて高山先生から発表